
関市立関商工高等学校

校長 武田 理

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

1 会議の名称 第2回関商工高等学校運営協議会

2 会議の構成 委員 北瀬 美幸 関美濃保護区保護司会 保護司
杉原 茂男 中部学院大学 特命学長補佐
田中 雄貴 関青年会議所 直前理事長
田中 裕美 国際ソロプチミスト関 会長
波多野篤志 青協建設株式会社 取締役副社長
林 昇 関市立関商工高等学校 P T A会長
山田美穂子 関印刷有限会社 取締役社長

(敬称略 委員名は50音順)

学校側 武田 理 校長
岩島 義則 副校長
中村 進 事務長
服部 幸広 教頭(全日制商業)
関谷 篤 教頭(全日制工業)
早矢仕賢治 教頭(定時制)
林 秀記 教務主任(全日制商業)
野口 晃弘 教務主任(全日制工業)
廣瀬 和俊 生徒指導主事(定時制)
井川 茂雄 生徒指導主事(全日制工業)
所 剛 進路指導主事(全日制工業)
安藤 正夫 商業科主任(全日制)
牛丸 憲一 工業科主任(全日制)

3 会議の目的 学校に在籍する生徒の保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携の強化を推進することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組む。

4 会議の開催 令和4年11月7日(月) 13:30~15:30 商業科棟
委員6名 学校13名 出席 委員1名欠席

5 会議の概要 I部

- (1) 工業科・商業科の教育活動について
- (2) 授業見学(商業科、工業科)

II部

- (1) 授業見学を終えて、ご意見・ご提言
- (2) 学校側からの説明
 - ・各分掌の重点目標と具体的取組と方策について(中間報告)
 - ・定時制の重点目標と具体的取組と方策について(中間報告)
 - ・ご意見・ご提言

6 5 会議の概要 I部 (2) 授業見学(商業科、工業科)についてのご意見・ご提言等

【ご意見1】

昔は先生が教科書の内容を黒板に書いていましたが、プロジェクターを使って映し出しているのも、以前より効率的な授業を展開していると感じました。その一方でプリント配布などして、地道に書き込んだ授業の余地は残っているのではないかと思います。

【ご意見2】

最先端の機械が設置されていることも含め学習設備が充実しており、生徒は恵まれている。設備の活用も含め、社会の変化に対応した授業を実践していただいていると感じた。

関市にこれだけの施設を出資して頂いているので、市民の方に何か還元できないかと思いました。例えば、市民講座などを開設して市民と生徒の交流することで生徒の姿を市民の方々に伝えることができないか。関商工の生徒の良さ、礼儀正しさを伝えるためにも、何か還元できる何かを考えていただきたいと思いました。

【ご意見3】

クラス目標がクラスによってバラエティに富んでいて、先生方が生徒の自主性を重んじていることがよくわかりました。気持ちよい挨拶など平成25年度受け継がれている関商工五箇条を心がけている姿は素晴らしく、脈々といふ伝統が受け継がれている。工業科では設備が素晴らしいだけでなく、社会人レベルの国家検定で7名合格していると聞き、先生方や生徒さんの努力している姿がわかり、関市民として誇らしく思います。

【ご意見4】

昨年まではコロナ禍でいろいろな行事がなかったけれど、今年は修学旅行や文化祭などができて、嬉しく思う。教室も廊下も古い校舎ですが、ゴミも分別され、きれいに使われていることがすばらしい。授業はホワイトボードに映す形の授業に生徒も先生も慣れてきているように見えた。日差しが強く少し映像が見にくいような気がしますので、カーテンを替えてはどうかと思いました。

➤ 質問1

新聞にコロナ禍でいじめが増えているという記事を見ましたが、どうですか。

➤ 回答1

本校においては、コロナ禍とそれ以前とのいじめの件数の大きな増加は見られない。ゼロになっているわけでもなく、例年通りである。

【ご意見5】

先生方の教え方にもいろいろと個性があって生徒にわかりやすく創意工夫して授業が行われていると感じた。商業科の少人数授業は大変良いと思いました。工業科の実習棟などは素晴らしい施設で、さすがものづくりの街の関市にある工業高校という印象を持ちました。新しい機械も設置されていて、社会に出てすぐ役立つ形で実習できる環境は素晴らしいと感じた。

➤ 質問2

工業科のデニム調の格好いい作業服は、支給されているのでしょうか。

➤ 回答2

工業科の各科で仕様を選定し、長袖と半袖の実習服、ズボン、帽子をセットにして、1年生入学時に購入してもらっている。物価高騰のため、来年の1年生は、2割増しくらいの値段になる予定です。

【ご意見6】

授業見学で日頃生徒のためにご尽力して頂いていることがよくわかりました。先生方の一生懸命な教育が伝わってきました。

7 5 会議の概要 II部 (2)について 学校側からの説明に対するご意見・ご提言

➤ 質問1

「学校アンケートの生徒の回答で、体罰がないという質問に対して「まったくあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせると4%（800人の学校であれば約30人）になるのが気になるのですが、体罰に関する生徒と先生の捉え方の違いもあるのかもしれませんが、どうでしょうか。」

➤ 回答1

アンケートの結果は記入された数字がそのまま出ています。体罰はゼロでなければいけないので、生徒の体罰への捉え方の違いもあるかもしれませんが、事実であるとすれば重要なことでありますので、学校としては体罰がない形で教育が進められるように内容を精査して、教育活動を適正に行っていきます。

➤ 質問2

「生徒・保護者へのアンケートの回答でわからないと言う回答が多い設問がいくつかありますが、学校からの発信や工夫はされていますか。」

➤ 回答2

「発信はしています。本日は授業公開日で、保護者の方、地域の方、関市の中学校に案内して多くの方に来てもらいたいと思っています。わからないという方については、特に見に来てもらうことが一番だと思って、このように積極的に案内をさせてもらっています。」

➤ 質問3

「スクールカウンセリングについて、定期的なのか、随時なのか教えてください。」

➤ 回答3

定期的に月1回2時間程度で行っている。生徒が自ら申し出る場合と学校側が判断して必要だと思う生徒に声をかける場合がある。月に数名が相談するケースが多い。

【ご意見1】

定時制への対応について、個々への対応ができる人数であるので、一人一人に対応することで中学校時に不登校だった生徒が登校できるようになったと思います。環境が変わる時はチャンスだと思うので、子供達に合わせて、褒めたり、認めたりする丁寧な指導をしていると感じた。全日制の生徒も同じであると思うので、褒めるとか認めるとか楽しむとかを授業や部活動の中で生徒へ伝えてくださると有難いです。

➤ 質問4

「アンケートについて、わからないという回答の項目が必要なのか、この回答項目がないと結果の印象が変わるのではないか。」

➤ 回答4

学校評価のアンケートについては、県下の統一したフォーマットに従って行っています。設問も学校独自のものと共通のものがあり、他校と比較ができます。ホームページで見ることができます。

【ご意見2】

定時制の生徒への接し方の話を聞いて、小学校、中学校の先生と教育の仕方が少し違うのではないかという印象を持ちましたので、小中学校の生徒への対応について市に投げかけてみると良いと思いました。校長先生は学校の働き方改革と言うことで、先生達の働き方改革が前面に出て、子供たちでなく先生達ばかり見ている印象があります。働き方改革が、子供たちに目が向いていない感じになっているのかなと思います。その部分が改善され、小中学校を通して行われると定時制のあり方も改善されるかと思っています。

9 会議のまとめ

・第2回学校運営協議会において、今年度の学校の取り組みの中間報告を行い、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。今後の学校運営の改善にいかしていく。

次回は、令和5年1月下旬に予定している。